



広島記念病院 第9回 公開講座

日時：平成26年7月8日(火) 13:30～14:30

テーマ：『熱中症』 講師：広島記念病院 副院長 隅井雅晴

今回の公開講座は日常に潜む危険「熱中症」と題し、室内にいても起きる熱中症、その症状と対策、予防法、気を付けておきたいポイントについて副院長の隅井雅晴が講義を行いました。

熱中症の種類 ①熱失神（日射病）②熱けいれん ③熱疲労 ④熱射病それぞれに原因・症状・治療について述べ、重症度分類でわかりやすく対策を示しました。

水分補給について、スポーツドリンクは糖分が高すぎる、ナトリウムが少なすぎる、また、乳幼児の脱水時にスポーツドリンクを与えると低カリウム血症から水中毒を起こす可能性があるなど注意を促しました。

<熱中症対策のまとめ>

- ・十分な睡眠で、体調を整える
- ・熱中症にかかりやすい環境を知り注意する
- ・通気性のよい服装、帽子や日傘を利用する

- ・こまめな水分補給につとめる
- ・適度に汗をかく、運動を行う
- ・バランスのよい食事をとる

参加者からは熱中症を軽く考えていた事に対し、今後こまめに注意していきたい、自分に限ってという過信があったなどの声をいただき有意義な研修会となりました。



TQM、はじめました

TQMとはTotal Quality Managementの頭文字をとったものです。病院におけるTQMとは、病院全体の質（医療の質、患者サービス）を向上させるための管理技術といえます。

当院では平成25年度よりTQMを実施し、今年度で2回目となります。TQMは、現状の何が問題なのか、患者さまに何を求められているかに気付くことから始まります。そしてその問題はどうすれば解決するのかを考え、計画を立て、実行していきます。

平成25年度は19団体が参加し、6月に計画発表会、11月に成果発表会を行いました。審査は院長をはじめとした管理者が行い、入賞した上位3団体は、病院忘年会の中で表彰されました。

平成25年度の入賞団体は次のとおりです。

第1位 栄養科 食べたかったあの味を、もう一度味わってもらいたい

～ムース食導入への取り組み～

嚙む力、飲み込む力が弱くなってくると、食べられるものが限られてきます。従来は「ミキサー食」といった全ての食材をミキサーにかけたものが提供されることが多くありましたが、このたび当院ではより普通の食事に近付けた「ムース食」を導入しました。食材のひとつひとつをミキサーにかけた後、ムース状にまとめていくため、ミキサー食よりは手間がかかりますが、スタッフが一丸となって取り組み、見た目や味について患者さまやご家族からも高く評価されています。

また、ムース食に取り組む中で、スタッフ間での協力体制が築かれたり、思わぬ盛り付けセンスを発揮して周囲を驚かせるスタッフが現れたり、調理場内の雰囲気の良い影響が出てきたことも大きな成果となりました。

報告

食べたかったあの味をもう一度味わってもらいたい！

～ムース食導入への取り組み～

栄養科



こういう食事が食べられなくなったら・・・

今まではコレでしたが



こんなおいしい食事にすることができましたので、報告します♪



輝くシェフの存在は、調理場全体のレベルアップにつながった



若い栄養士も、ベテラン調理師も各自のセンスで美しく盛り付けてくださっています♪

「やってみたら、ちよつと楽しくなった。」
「自分のセンスが出せる場ができた。」

☆☆ みんな輝きたい！！ ☆☆☆
(そして愛められれば嬉しい)

★ 調理場内で、協力体制が築かれた

ムース食ができたからといって、他の業務が減ったわけではない。自然と協力体制が築かれ、お互いフォローし合いながら業務ができるようになった。



★ 委託側スタッフと病院側スタッフが思いを「共有」した

やるって言っちゃったけど、ほんとにできるかなー??

きれいにできたー!

マズいって言われないかな?

全部食べてくれた!

このペースで大丈夫かな?

患者さんが喜んでくれた!

配膳時間に遅れたらや、いいなー

共有

まとめ

- ★ムース食導入から9ヶ月経過したが、大きな問題が起こることなく現在に至っている。
- ★ムース食導入前のミキサー食の数を上回るオーダーがあり、より多くの患者様のニーズに応えられているのではないかと考えられる。
- ★患者様、ご家族からは概ね好評である印象を受けている。
- ★調理スタッフが個性を発揮できる場となり、意欲的に取り組んでいる。
- ★ムース食導入にあたり、栄養科スタッフが共に悩み、共に苦労した結果、得られた喜びも大きいものとなった。

第2位 6病棟 看護師と薬剤師のコラボレーションで“内服管理環境”を整える

薬剤が処方され、患者さまが服薬するまでにはさまざまなプロセスがあります。看護師は病棟で処方薬の整理、与薬準備、配薬、必要に応じて服用確認が必要となり、その業務量は少なくありませんでした。平成25年度より6病棟に薬剤師が常駐することとなり、薬剤に関する業務を看護師と薬剤師で協働し、より確実な内服管理環境を整えることができるよう取り組んできました。

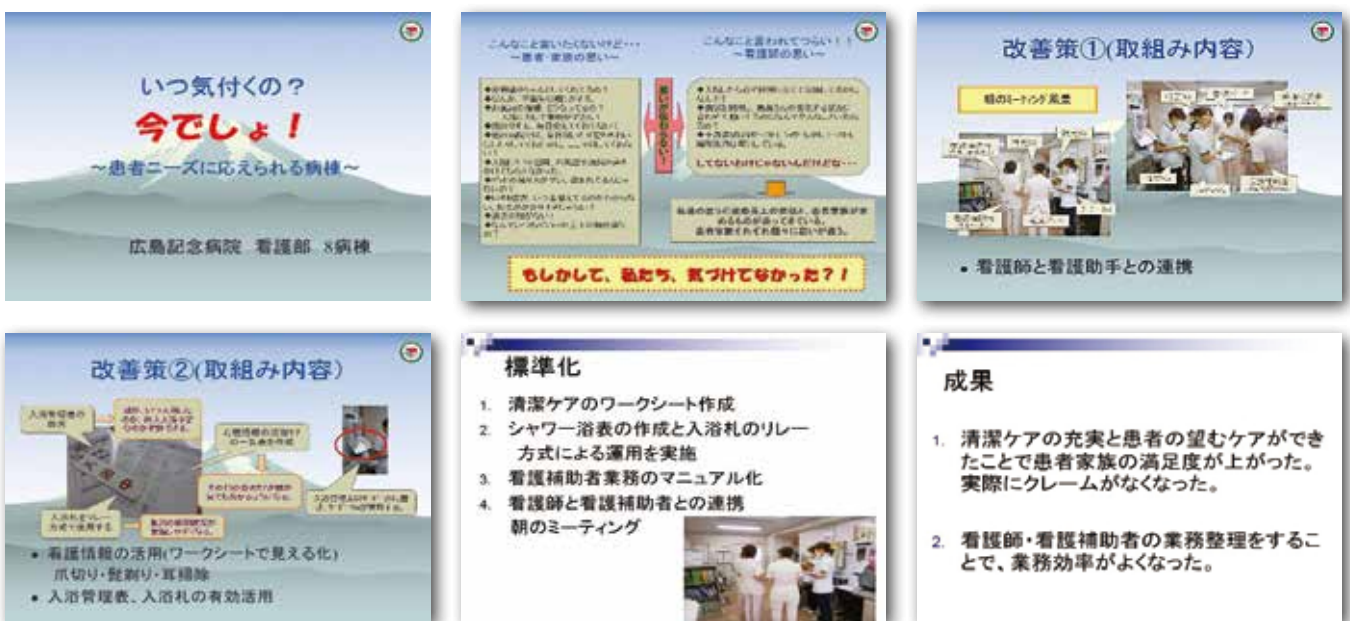
その結果、薬剤に関連したインシデントの減少、薬剤への関心の拡大、看護師による内服管理に関する時間外勤務の減少等の成果を実感することができました。



第3位 8病棟 いつ気付くの？今でしょ！～患者ニーズに応えられる病棟～

患者さま家族からのご意見がきっかけで、看護師が思う療養上の世話と、患者さま家族が求めておられることに違いがあることに気付きました。また、8病棟は他の病棟と比較しても高齢者率が高く、ケアを必要とする患者さまが多いことも分かってきました。そこで清潔ケアシステムを構築し、看護補助者と共働することで、患者ニーズに応えられる病棟を目指して取り組みました。

看護師と看護補助者がお互いの業務を認め合い、効率よく連携できるようになったことで、清潔ケア件数を増加させることができました。その結果、患者さまやご家族からのご意見（クレーム）が減少し、ニーズに応えられたのではないかと実感できました。



平成26年度は6月21日に計画発表会を行いました。17団体が参加し、11月の発表会までに、それぞれ取り組む予定となっています。

5月地域医療従事者研修会

日 時：平成 26 年 5 月 29 日（木） 19：00～20：00

テーマ：『腹腔鏡下大腸がん手術』～虎の門病院への国内留学を終えて～

講 師：広島記念病院 内視鏡外科医長 小林 弘典

今回の地域医療従事者研修会は“腹腔鏡下大腸がん手術”について、内視鏡外科医長小林弘典が講義を行いました。

小林医師はこの度、共済医学会留学制度を利用し虎の門病院へ1ヶ月間国内留学しており、そこで学んだ事を実際の手術ビデオなども交えてお話ししました。主な内容としては手術前のカンファレンスをして、共通認識して手術に臨むことやチーム制で行うこと、医師によりさまざまな術式ではなく、統一した手術方法であることなど、当院の現状と違う点を踏まえて、今後の展望もお話ししました。安全の為、手術の定型化・教育・技術認定医の取得が大切であると感じました。



8月地域医療従事者研修会

日 時：平成 26 年 8 月 21 日(木) 19:00 ~ 20:00

テーマ：『胃瘻について考えよう！』

講 師：1. 診療報酬改定でこれからの胃瘻はどうあるべきか？

広島記念病院 炭田 知宣 医長

2. 口から食べるための取り組み「嚥下内視鏡検査」

広島記念病院 耳鼻咽喉科 長田 理加 医師

2014 年 4 月の診療報酬改定で、胃瘻造設術が 10,070 点から 6,070 点に大幅に減額となりました。胃瘻造設件数を抑制するための方策とも受け取れるこの改定ですが、この研修会では胃瘻についての理解を深め、今後どうしていくべきかを考えるきっかけになればということで企画されました。

第一部では、当院で胃瘻造設を実際に行っている炭田医師がこのたびの診療報酬改定の概要、胃瘻の適応や合併症、造設方法、ケア方法等の基礎的事項について解説してくださいました。その後、倫理的側面も含めた胃瘻の適応について、経過予測のイメージ図や予後予測指数などを用いて説明してくださいました。明確な答えを出すことは難しいかもしれませんが、「食べられないから胃瘻」という安易に胃瘻を造設するべきではなく、患者様を中心に、さまざまな側面から考えていく必要があると感じました。

第二部では、嚥下内視鏡検査について、耳鼻科の長田医師が解説してくださいました。当院は長田医師が週に 2 回嚥下内視鏡検査を実施してくださっています。モニターを見ながら検査をされるのですが、画像の見方や、嚥下内視鏡検査での観察ポイントについてを、分かりやすく解説してくださいましたので、検査に同行する際、検査結果をカルテ記載で確認する際にもイメージが付きやすくなったと思われれます。その後、実際の映像を用いて、反回神経麻痺の症例、痰やゼリーが喉頭侵入しかけた症例、嚥下後に食物が喉頭蓋谷に残存している症例等を解説してくださいました。嚥下障害を有する患者の咽喉頭で起こっていることへの理解が深まり、より一層注意してケアしていく必要があると感じました。

当院では 2014 年 7 月に、摂食・嚥下障害看護認定看護師が誕生しました。口から食べることを大切に、支援を強化していけるよう取り組んでいきたいと考えています。



防災訓練に参加

看護部 福井 彩香



7月18日、広島市総合防災センターにて新人看護師、理学療法士の14名で防災訓練を受けてきました。実際の避難用具を使わせていただき、また消火器やスプリンクラーなど非常時の使用方法を教わり、実体験をもって学ぶことができました。

「やっておくのとおかないのでは全然違う！」ということですが、普段目にしていない消火器や避難はしご口など、その仕組みに初めて知る

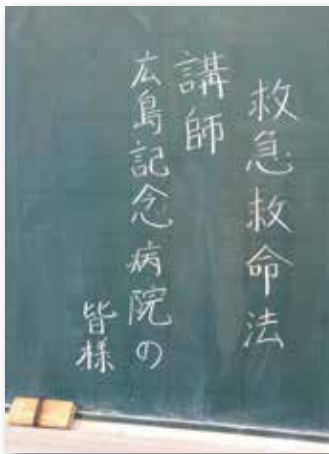
ことや驚くこともたくさんありました。「知らないことは敵」であり、仕組みや場所、使用方法を知っているだけで命を守ることにつながってきます。自分たちの安全は自分たちで守ることができるよう普段から防災意識をもつ重要さを感じました。

30年以内に起こるとされている南海トラフ地震、いつおこるかわからない火災。患者様の命を預かる病院に勤めるものとして、いざという時命を守るためにスタッフひとりひとりがどう行動するのかがとても重要です。今回学ばせていただいたことをもとに、非常時に行動できるよう、まずは自分たちの病院を知って、防災に努めていきたいと思った研修でした。



小学校 教職員への救急蘇生研修を行って…

国家公務員共済組合連合会 広島記念病院
看護部 外来主任 酒井 美明



広島市立の小学校2校（本川小学校、竹屋小学校）から依頼を受け、プールの授業開始前の教職員対象に救急蘇生研修を企画しました。研修の目的は、プール授業開始に際し、教職員に応急処置、救急蘇生法を学んで頂き、不測の事態に備える。としました。

研修には当院の看護師6名がインストラクターとして参加しました。昨年の研修後に、教職員の方から、「子供の人形で実際に練習したい」と声を頂き、教職員の方の意識の高さを感じました。

そのため、今年度は小児、成人の両方のシミュレーターを使用し研修を行いました。

研修中は、教職員同士で声をかけながら熱心に取り組んでおられました。また、熱心な中にも、楽しそうな声が聞かれ、良い雰囲気での研修を終えることが出来ました。

また、研修後には、「何度も反復練習できて良かった」や、「実践的で分かりやすかった」など意見を頂きました。また、校長先生からは「教員達がすごく生き生きと研修を受けていました、来年もお願いしたい。」と、うれしい言葉も頂きました。

今後も地域に密着した病院として、病院内だけの活動ではなく、病院外へ出向き、活動できる企画を考えたいと思います。



あなたに、 心豊かな癒しの空間を

患者様に癒しの空間を提供するため、壁紙・カーテン・装飾品をリニューアルいたしました。

特別室 501・701・801号室

患者様のプライバシーの確保と、
快適な療養環境を提供いたします。

- ・清潔で落ち着ける、静かな雰囲気のある病室です。
- ・備え付けの設備はすべて自由に使用して頂けます。



室料 (特別室 501・701・801号室)

15,120 円(税込) / 1日

設備およびアメニティ

○LED照明 ○個室空調 ○ナノイー発生器 ○ソファベッド ○デスク ○液晶テレビ ○ブルーレイディスクプレーヤー ○電子ケトル ○ミニキッチン ○冷凍冷蔵庫 ○オープンレンジ ○浴室・ウォシュレット付トイレ ○ヘアードライヤー ○シャンプー・リンス・ボディソープ ○抗菌収納ボックス ○寝巻(パジャマ)無償貸与



ご希望の方はお気軽にお問合わせください。(入院中の方は看護師長にご相談ください。)

永田クリニック



理事長 内科
永田 裕 先生



院長 脳神経外科
浅野 拓 先生



内科
辻本 卓子 先生

1) 開業されたのはいつですか。

平成 19 年に開業しました。11 月から 8 年目になります。

2) 永田先生はもともと府中町で“永田内科医院”で診療されておられますが、こちらにはどのような経緯で開業されたのでしょうか。

元々、祖父がこの辺りで“永田病院”を開業していました。その病院はその後閉院となりましたが、私も子供の頃は古江で暮らしていました。そういった縁からこちらに開業することになりました。

3) 医療機器が大変充実されていますね。

MRI、マルチスライス CT 等、専門医の読影により診断しています。その結果、入院が必要な患者さんを適切な病院に迅速に紹介することができます。

4) こちらはデイサービスも併設されておられますし、在宅医療にも力をいれておられますね。

通院される患者さんは若い方から高齢の方まで様々です。求められれば往診も行っています。居宅介護支援事業所も併設しているので、そちらからの勧めで受診される方もありますし、通院されている患者さんの診察時の様子を見て、デイサービスの利用をお勧めする場合もあります。

5) スタッフの皆様がとても和気藹々とした印象ですが、チームワークの秘訣は？

医師、看護師、受付、デイサービススタッフ、居宅スタッフとたくさん職員がいます。普段は別のフロアで仕事をしているので、月に一回スタッフミーティングを行っています。医師と各部署から 1 名ずつ参加し、よりコミュニケーションがとれるように心がけています。

6) 最後に、広島記念病院の印象をお聞かせください。

大腸内視鏡検査の患者さんは主に広島記念病院に紹介しています。

また、入院依頼は、いつでも受け入れしてもらえるので助かっています。ご高齢の患者さんは、病状が急に悪くなることがあるので、開業医としては早めに入院をお願いしたいところですが、広島記念病院は夕方や土曜日などでも対応してもらえるので助かります。今後とも宜しくお願いします。



医療法人社団 永慈会
永田クリニック
TEL.082-527-0888

外来受付時間	月	火	水	木	金	土	日	祝	備考
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○			休診日：水・土午後 日・祝日
15:00~18:00	○	○	○	○	○	○			

※外来受付時間等は変更になっている場合がございますので、事前に必ず該当の医院に直接ご確認ください。

広島記念病院「理念」「憲章」

理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

地域医療連携室

TEL 082 (503) 0730

FAX 082 (503) 1010

代表 広島記念病院

TEL 082 (292) 1271

FAX 082 (292) 8175

庶務課

TEL 082 (503) 1001

内科・外科

FAX 082 (503) 0722

産婦人科・小児科

FAX 082 (503) 0723

耳鼻科・皮膚科・泌尿器科

FAX 082 (503) 1010

記念寿

TEL 082 (294) 8400

FAX 082 (294) 8420

合庁(合同庁舎診療所)

TEL 082 (221) 9411

FAX 082 (223) 6204

歯科診療所

TEL 082 (294) 7858

外来診療担当表

平成27年2月1日現在

診療科	受付時間	区 分	月	火	水	木	金	土
内 科	8:30~11:00	一 診	隅 井	山 田	隅 井	隅 井	津 賀	当番医
		二 診	江 口	田 村	津 賀	江 口	田 村	
		三 診	炭 田	阿座上	炭 田	阿座上	山 本	
		四 診						
総合診療科	8:30~11:00		横 崎	菊 地			休 診	
外 科	8:30~11:00	一 診	宮 本	中 井	坂 下	宮 本	中 井	当番医
		二 診	首 藤	横 山	首 藤	横 山	坂 下	
	三 診	小 林	手 術	小 林	手 術	手 術		
	手術	宮 本	中 井	坂 下	宮 本	中 井		
	13:00~14:30		手術	手術	手術	手術	手術	
産婦人科	8:30~11:00	一 診	横 田	横 田	横 田	横 田	横 田	休 診
	13:00~14:30	一 診	横 田				横 田	
小 児 科	8:30~11:00	一般診療	岸	岸	岸	岸	岸	
	13:00~13:30	健診・予防接種	予防接種	乳児健診(予約)	予約検査	予約検査	予防接種	
	14:30~16:00	一般診療	広大医師	藤 井		岸	岸	
耳鼻咽喉科	8:30~11:00	一 診	長 田		長 田		井門、又は杉本	
皮膚科	8:30~11:00		河 合				横 林	
泌尿器科	8:30~11:00			井 上		重 松	川 崎	
眼 科	8:30~11:00	一 診	金 本	金 本	金 本	金 本	高 本	
		二 診		藤 東		藤 東		
	午後(予約のみ)	手術	検 査	手術	検 査			
広島記念診療所 歯 科	8:30~11:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	電話番号 294-7858
	13:00~16:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	

* (注) 土曜日は休診ですが、内科一診、外科一診は診察しております。
歯科を除く各科とも再診は7:30から受付けています。

部分は女性医師です。

広島記念病院案内図



交通のご案内

JR 広島駅より市内電車宮島行き・己斐行・江波行にて、
本川町下車、南へ100メートル徒歩1分
広島バス商工センター行き・祇園大橋行きにて
本川町下車、南へ100メートル徒歩1分
広島駅前よりタクシーで約10分

駐車場

立体駐車場 72台、平面駐車場 10台
身障者専用駐車場 3台
詳細は病院ホームページをご覧ください